

【漢方外来の理念】

私たち、漢方外来の最大の特色です。

私がかつて勤めていた京都府立医科大学病院という世界の最先端の治療を受けることが出来る環境の中で、漢方診療は決して西洋医学と相対するものではありませんでした。むしろ、西洋医学的な手法を存分に活かす中で、漢方治療を受けていただくことが出来るわけです。

「漢方治療って、漢方薬を飲むことじゃないの？」

確かにそうですが、「ただ飲むだけ」ではないのですね。患者様のからだの中で起きている、様々な矛盾は何か？を患者様とともに考えていくわけです。これが、未病の治療なのです。ご本人はそうと気づいていなくとも病（やまい）は既に成立している、しかし西洋薬を使うべき目的がはっきりしない、このような病態は漢方外来の腕のふるいどころです。

「検査ではどこもどうもないんやけど、何でこんなに調子が悪いの？」

さあ、ここからです。私たちは、いつも患者様と一緒に歩んでゆきたいと思っています。ですから、私たちが患者さんの訴えをしっかり受けとめて、その中の「未病」の部分は一休何か？を的確に把握し、患者さんとともに共同作業で治療を進めると、「漢方薬って本当にいいですね」ということが理解していただけたらと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。